

図書館基礎特論 2023-5

地域コミュニティと図書館

土屋深優．ロンドンのコミュニティ図書館における社会的包摂概念．のポイント

1. 研究背景と目的

- ・コミュニティ図書館 (Community Library)

自治体によって行われる公共図書館の運営やサービスに地域のボランティアを主とするグループが中心に関わる運営形態

3.1 社会的排除・包摂の定義

- ・社会的排除 (Social exclusion)

人々もしくは地域が、失業、低熟練のスキル、低所得、粗悪な住環境、犯罪率の高さ、不健康、家庭の崩壊等の、複合的かつ相互に関係する問題によって苦しめられること

- ・社会的包摂 (Social inclusion)

社会的排除の対として現れてきた政策指向的な概念

4.1 コミュニティ図書館の背景

- ・公共図書館の閉館と地方分権政策という2つの大きな流れ

4.2 コミュニティ図書館の定義

- ・運営者、資金源、カウンスルからの支援の内容、有資格職員の有無等の運営の形態は様々であり、コミュニティ図書館の明確な定義は定まっていない。

(注)「カウンスル」にはいくつかの意味があるが、ここでは「地方自治体」のような意味。

4.3 コミュニティ図書館の分類

- ・「独立型」

自治体からの支援を受けず、地域の図書館ネットワークにも含まれない

- ・「協働型」

自治体から支援を受け、地域の図書館ネットワークの一部として機能する

- ・それぞれ、さらに細分化される。

- ・「表1」では、8種類に区分。